

---

# もう一人の孫策～天虎の生き様～

銀色の空

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

もう一人の孫策〜天虎の生き様〜

### 【Nコード】

N8829Z

### 【作者名】

銀色の空

### 【あらすじ】

孫家にはもう一人の策の名をもつ者がいた。

その者が駆ける道はどこか？

「俺は天を駆け抜ける天虎。その背に乗ってみる気はないかい？」

最強で無敵、天下無敵のその男

「姓は孫 字は白蘭だ。名だと？そんなもんとつくの昔に捨てた！

！」

## 〇〇自己紹介(前書き)

初投稿です。

よろしくお願ひします。

## 00自己紹介

### 自己紹介

姓 孫 名 策 字 白蘭

真名 白夜

性別 男

年齢 19歳

顔 上の上 髪 銀色 体 背中に大きな？印<sup>バツ</sup>の傷がある

性格 基本的に優しく怒ると怖いらしい（はわわ軍師+あわわ軍師  
談） 敵には何も容赦しない。だが、女だと？

孫家の血が母から受け継いでおり、戦場で一定以上の血を浴  
びると

虎のようになる。

好きな物（人） 煙管 酒 自分を愛してくれる女

嫌いな物（人） 孫堅 命を軽く見ているいつ 政務

武 呂布をも超えるほど 知 各軍師にも負けないほど

武器 日本刀様な刀を2本を腰の両側にある。

サブ武器 小刀を腰のポーチに10本ちかく入っている

## 説明

孫策（雪蓮）のいところで孫堅の姉が生んだのが白夜。

だが、父は戦死、母は白夜を生んですぐに死んでしまい孫堅に預けられた。

母が死ぬ間際に（孫策）という名をくれた。

だが、白夜には武の才能も知の才能もなく。「策」という名を名乗れなくなった。

そのかわり、雪蓮には、武の才能があり王の覇気というものがあつたそして義姉の雪蓮が（孫策）と言われた。

その数年後、白夜が国に追放された。

## 〇〇自己紹介（後書き）

これから、頑張るぞぞ

01 天虎く母との別れく（前書き）

1 話目です。

よろしゅうなく（くく）

## 01 天虎く母との別れく

僕が生まれる前に父は戦死した。  
結構名前が知られていたらしい。

そして、母は僕を身ごもった。

とても、嬉しかったらしい。「あの方の忘れ形見です」と涙を流しながら笑っていたらしい。

そして母は、僕を生んだ。

また、泣いていたらしい。

そして母は、病を患った。

そうとう酷いらしく「もういつ死んでもおかしくない」と医者が出てきた。

母は、それを聞いてすぐ僕を呼んだ。

まだ赤ん坊だった僕は、侍女に連れられて母の自室に行った。

「ああ、私のいとしい子」

自室について母は寝ながら、迎えてくれた。

「ちょっと、この子と2人にしてください。」

母は、侍女をさがらせた。

「ふふ、元気ね」

母は笑っていた。

「・・・」

すると、ずっと笑っていた母は、急に何を思ったのか笑みをやめた。



「・・・私は、もうすぐ死にます。」  
ぽつりとつぶやいた言葉だった。

「私はもうすぐ死にます。あなたには、幸せになってほしい」  
一度息を整えてまた言い始めた。

「あなたは、幸せになっていい人なのよ。それなのに、  
私は、あなたに愛というものを教えられなかった。  
なにもあげられなかった。」  
涙を流しながら言い続けた。

「ふふ、赤ん坊相手に何言っているんでしょね。」  
クスツと笑い、涙を拭いた

「あつ、そうそうあなたの名前だけどね。  
あの人が決めたのよ。あのひとつたらね・・・」

それから、父との出会いだとかここがカツコイイだとか  
とても強いだとかここが好きだとか

いや、しらんげど(汗)

30分ぐらい？

「……つまりこうなったわけよ」

あの、この中ではまだ赤ん坊なんですけど(汗)

「まあ、あなたに言ってもしかたないんだけどね」  
はい。そうですね

「それでね、あなたのお父さんはね戦場では『白虎』って言われて  
いてね

その髪はあの人の遺伝ね」

そのときの、母の笑顔はとてもきれいだった。

「それで、あなたの名前は、姓 孫 名 策 字 白蘭  
どう？いい名前でしょう？」

また、にこりと笑い口を開いた。

「そして、真名は

白夜」

それが、母から聞いた最後の言葉だった。





01 天虎く母との別れく（後書き）

やばい、文才がない

02天虎く雪蓮と冥琳と祭に知り合うく(前書き)

頑張るぞく

## 02 天虎く雪蓮と冥琳と祭に知り合うく

父、母が死んだ。

それから、僕は叔母だという孫堅さんに引き取られた。

白夜5歳

僕は、今『呉』という国にいます。

孫堅さんは「今日から私があなたの母親だ」と言ってくれた。  
子供ながらに嬉しかった。

話が変わるが義母（孫堅）には娘がいた  
名前は、まだもらってないらしい。

（10歳になるともらえるらしい）

真名は『雪蓮』というらしい。

僕より数ヶ月先に生まれたらしい。

まあ、義姉です。

説明すると・・・とてもウザい

たとえば、朝早く僕の部屋に来て「釣りに行くわよ!!」  
と言い、たたき起こされ釣りに連れていかれた。

いや、あなた姫なんですけど（；一一一）

いいんですかね（汗）

しまいには、「飽きた」と言い僕と冥琳さんにまかせ森に行っ  
てしまった。

冥琳さんは「仕方ないな」という顔をしていた。



いつもお疲れ様です。

そして帰ってくると木の実などを持ってやってくる  
「あゝ火をつけるのは私の役目なんだから」と頬をパンパンにし  
て行ってくる。

はいはい、もう慣れまいたよ。

悲しいことに（泣）

また、今度は「冥琳に怒られた」（泣）「

いや、知らんし（汗）  
勝手にしてくれ

また、前の話にいた冥琳さんの説明もしておこう。

冥琳さんの名前は、姓 周 名 瑜 字 公 謹

真名は『冥琳』という。

姉さん（雪蓮）の幼馴染らしい

冥琳さんは、とても頭がいい。

姉さんのことを止められるうちの1人だ。

将来の有能軍師候補だ。

もう一人姉さんを止めれる人がいる。

姓 黄 名 蓋 字 公覆

真名は『祭』という人だ。

義母に仕えており呉の宿将でとても弓がうまい

髪は薄紫でシヨートヘヤーだ。

歳は「ヒュ」 矢を放った音

サク ピュー

作者の眉間に矢が直撃

返事がないただの屍のようだ。

いやいや、冗談ですよ。ははは 棒読み

なんか、変な電波が？

まあ、まとめてみると、とても美女ですね。

美(少)女

間違えないように

まあ、暇はしません！(^^)！

ある日、義母に鍛錬を付き合ってもらった。

もちろん、義母には一太刀も当てられなかった。

その日から、義母の僕に対する態度が変わった。

02天虎く雪蓮と冥琳と祭に知り合うく(後書き)

あれ？

なんか、自己紹介みたいになった？

どうしよう

03 天虎く名を無くすく (前書き)

ちよつと編集します

### 03 天虎く名を無くす

この前、義母と鍛錬してから義母の態度が変わった。

「休む暇があるなら鍛錬をしる。寝る暇があるなら勉強しろ」  
それから、白夜は文字どおり血を吐くまで鍛錬を繰り返された  
それは、各武官、文官から見ても酷いものだった。

「堅殿！あれは、いささかやりすぎですよ！？」

祭が孫堅に向かって強めに言葉を放つ

「そうよ！母様あれはやりすぎよ！」

「孫堅様、私も祭様と雪蓮と同意見です」

祭に続いて雪蓮は、怒りをあらわにし

周瑜は雪蓮のように怒りを表に出してないにしろ、口調はわずかに怒っていた。

それまで、だまって聞いていた。孫堅は口を開いた。

「あの子には、なにもない」

ポツリとこぼした声を3人は聞き逃さなかった。

「なにがないっていうのよ！？」

雪蓮は怒りを隠さずに怒鳴った

だが、祭、冥琳はなにか思い当たることがあるのか口を開かなかった  
するとまた孫堅が口を開いた

「あの子には、武の才能も知の才能も微塵も感じられない」  
その一言で十分だった。

祭は、その一言を聞きを手血が出るくらい握りしめ

冥琳は、歯を食いしばっていた。

「で、でもこれから強くなるかも知れないじゃない!？」

雪蓮の言ったことはただの同情だった。

白夜の武の腕前は、壊滅的だった

それは、子供が見てもわかるほどに武の才能が微塵も感じられなかった。

ならば、「知はどうだ?」と勉学をさせて見ると  
またも、知の才能というものがまったくなかった。

「そうだ、雪蓮。あの子はまだまだ強くなる可能性がある」  
雪蓮の言葉を肯定して返した。

「だったら「だかな!」「っ!」

雪蓮の言葉を孫堅がさえぎる。

「まだ、子供だから。じゃあ、ないんだよ!」  
雪蓮達に怒鳴った

「ただ、弱いだけならまだいい。あの子には『才能』がないんだ!」  
?」

雪蓮は啞然とした。

いつもは、優しくずっとニコニコしている母だが、やるべきことはやり

戦場では『江東の虎』と恐れられている母がそこにいた。

「黄蓋！あいつに武の才能はあつたか！？」

祭はなにも言えなかった。

それもそのはずだ。

白夜の鍛錬を一番付き合っていたのは祭だったのだ

白夜の武の才能がないのは誰よりも知っていたからだ。

「周瑜！あいつに知の才能はあつたか！？」

冥琳も祭と同じく白夜の勉強を教えており

白夜の知の才能がないのを知っていた。

「雪蓮！あいつに覇気を感じられたか！？」

雪蓮は、祭や冥琳のようになにも教えてはいなかったが

7歳にして武の才能と覇気が見え隠れしており

気というのを感じとれるほど成長していた。

その雪蓮が見るに何も感じられなかった。

「みなも、わっているのなの？あの子のことを」

「「「「「「「」」」」」」」

雪蓮達は、また何も言えなかった。

「この話は、ここまでだ。」



と言ひ孫堅は玉座から立ち上がり自室へ戻って行つた。

雪蓮、冥琳、祭はその後ろ姿をただ見送るだけだった。

冥琳 side

「きい〜、悔しい！なんなのよ、あのバカ親!？」

祭と別れ冥琳と城の廊下を歩いていたときにいきなり雪蓮が騒ぎ始めた。

「ねえ、冥琳もそう思うでしょ？」

「・・・」

冥琳は何答えなかった。

「冥琳？」

と言ひ、顔を覗き込んできた。

「っ！あ、ああ。そうだな」

と、とつさに答えてしまった。

「嘘でしょそれ。冥琳？」

雪蓮が目を見て聞いてきた

「どうしてそう思うんだ？」

「冥琳のことだもん。わかるよ」

ハズかしなくもなくそんなことを言ってきた。

「孫堅様が言っていたことがな」

「うん。白夜のことでしょ？」  
やはりわかるか

「白夜様には悪いと思っっているが私も孫堅様の言っどおりだと思っ  
私は、はつきり雪蓮の目をみて言った。  
それがあの方の『白夜様』のためになるなら

「雪蓮もわかっているのだろう？」

「・・・わかってるわよ。そんなことわかってる!？」  
雪蓮は言葉を強めて言い放った。

「・・・わかってるつもりよ。あの子には・・・」  
そこから先の言葉は出てこなかった。  
ああ、そうだ。私も認めたくない  
言葉に出したら認めてしまうことになってしまっから

「雪蓮、つらいと思うが・・・」  
すると向こうから足音が聞こえた。

白夜side

今日も、これから鍛錬だ。

つらいけど義母に恩返しするためには強くならなくちゃ

「・・・つてる!？」

うん!？」

なんだ?この声って姉さん?  
行ってみよう

「雪蓮、つらいと思うが」

あれ?冥琳もいたんだ。

あっ、冥琳と目があった

「白夜様」

「何大きい声出してるの?」

「うづん、なんでもないのよ」

姉さんがこれでもかというくらい手と首を振っていた。

「ふふ、変な姉さん」

「白夜様はこれからどちらに?」

「ん?僕はこれから鍛錬なんだ。」

『鍛錬』と言葉を聞いた瞬間2人の眉間がわずかに動いた

「ねえ、白夜つらくないの?」

と姉さんが聞いてきた。

うづん。つらいかつらくないかで言ったらつらいけど

だけど・・・

「つらくないよ。だって強くなって義母や姉さんや冥琳を守りたい

んだ」

「そう」

「あつ！僕もう行かなきゃ。じゃあね、姉さん冥琳」

「ええ、行ってらっしゃい」「行ってらっしゃいませ」  
姉さんと冥琳が笑顔で見送ってくれた。

よし、今日も頑張るぞ！！

雪蓮&冥琳 side

白夜は行ってしまった。

「行っちゃたわね」

「ああ、行ったな」

「やっぱり、まだ信じてみよう。白夜を」

「ああ、そうだな」

神様、お願いします。

白夜（白夜様）の夢を叶えて挙げてください。

心から愛しているあの子に

（白夜様に）

白夜 side

今日、もう一人の妹に会いました  
名前は、姓 孫 名 権 字 仲謀  
真名は『蓮華』歳は3歳で妹です

そして、今日は義母に呼ばれて本城に呼ばれたんです。  
なんなんでしょう？

「白夜、お前は名を『策』という名を捨てなさい」

「え？」

数ヶ月ぶりに聞いた義母の言葉だった。

03天虎く名を無くすく（後書き）

疲れた。

頑張りました。

## 11の世界のキャラ設定(前書き)

年齢です

# この世界のキャラ設定

黄巾の乱

開催時の年齢

孫策 白蘭

白夜

19歳

蜀

名前

真名

年齢

劉備 玄德

桃花

17歳

関羽 雲長

愛紗

17歳

張飛 翼徳

鈴々

10歳

趙雲 子龍

星

17歳

諸葛亮 孔明

朱里

12歳

馬超 孟起

翠

17歳

黄忠 漢升

紫苑

23歳

鳳統 士元

雛里

12歳

馬岱

蒲公英

15歳

魏延 文長

焰耶

16歳



郭嘉	程?	于禁	李典	樂進	典韋	許緒	荀?	夏侯淵	夏侯惇	曹操	名前	魏	璃夕	嚴顏
奉孝	仲德	文則	曼成	文謙		仲康	文若	妙才	元讓	孟德				
稟	風	沙和	真桜	凧	流琉	季衣	桂花	秋蘭	春蘭	華琳	真名			桔梗
16歲	14歲	17歲	17歲	17歲	12歲	12歲	14歲	17歲	17歲	14歲	年齡		5歲	24歲

呂布	賈馱	董卓	名前 その他	呂蒙	周泰	甘寧	陸遜	黄蓋	孫尚香	孫權	周瑜	孫策	名前 呉	張遼
奉先	文和	仲穎		子明	幼平	興霸	伯言	公覆		仲謀	公瑾	伯符		文遠
恋	詠	月	真名	亞莎	明命	思春	穩	祭	小蓮	蓮華	冥琳	雪蓮	真名	霞
1 7 歳	1 4 歳	1 4 歳	年齢	1 5 歳	1 5 歳	1 7 歳	1 6 歳	2 7 歳	1 2 歳	1 6 歳	1 9 歳	1 9 歳	年齢	1 7 歳

ミケ	トラ	シヤム	孟獲	張梁	張宝	張角	張勳	袁術 公路	陳宮 公台	公孫贊 伯珪	顏良	文醜	袁紹 本初	華雄
			美以	人和	地和	天和	七乃	美羽	音々音	白蓮	斗詩	猪々子	麗羽	
1 1 歳	1 1 歳	1 1 歳	1 1 歳	1 5 歳	1 6 歳	1 7 歳	1 6 歳	1 1 歳	8 歳	1 6 歳	1 7 歳	1 7 歳	1 7 歳	1 7 歳

## この世界のキャラ設定（後書き）

どうだろうか？

こんな感じですか。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8829z/>

---

もう一人の孫策～天虎の生き様～

2011年12月29日15時49分発行